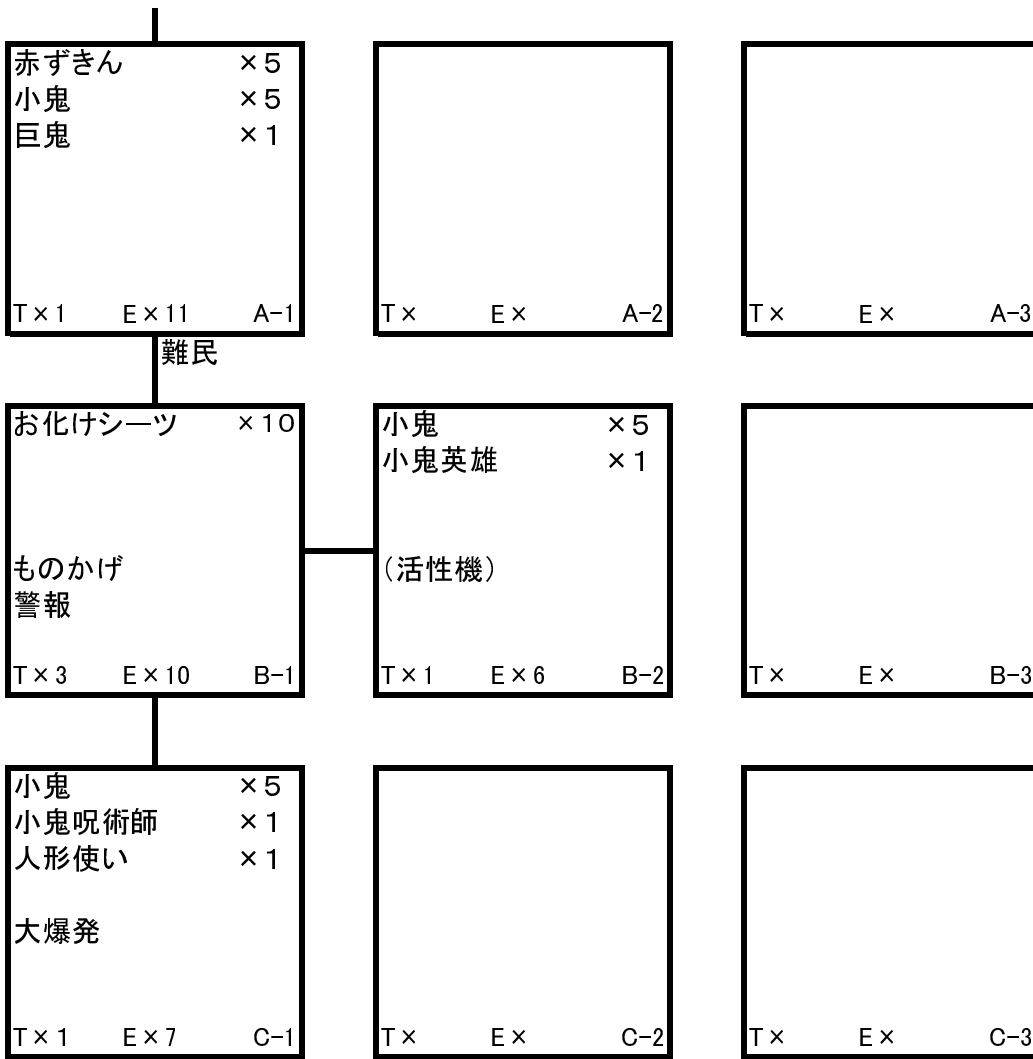


小鬼色のシャボン



導入:

王国中に小鬼たちが溢れていた、ただ、悪さをするでもなく、楽しそうに駆け回っている。子供たちも一緒になって追いかけてっこをしているが、いつの間にか、はじけるように消えていく。そんな日が何日か続いていると、小鬼たちは、南の穴から溢れていることが分かった。

A-1:

入口、赤ずきんたちが、小鬼を投げまわして遊んでいる。目を回している小鬼たちが、急に怯えはじめる、騒ぎを見つけた巨鬼が現れるのだ。動転した連中は、ランドメイカーに飛び掛ってくる。

B-1:

乱雑に布切れが散らばっている部屋。布を調べると、お化けシートであることがわかる。調べずに休憩した場合、ものかけ発動で奇襲、同時に警報も発動する。

C-1:

人形使いと小鬼呪術師が、不可思議な装置を操っている。装置から、泡があふれ出し、そこにはその場にいるモンスターたちが映し出され、駆け回っている。人形使いは小鬼をからかって遊んでいるだけ、小鬼呪術師は、小鬼が増えて強力になったと思っている。この泡の発生器を止めるまでは、マップ中のモンスターは同じ数だけのダミーがいる。ダミーは攻撃等の動きをしない、移動もランダム、攻撃は命中すれば消える。

B-2:

小鬼英雄と小鬼が数匹、人形使いが倒されている盛り上がりについて、活性機が作動している。元々小鬼たちは皆と仲良くしたいだけだったが、小鬼英雄は仲間を倒してきたランドメイカーを憎む。人形使いが倒されていない場合、やはり泡の効果はある。